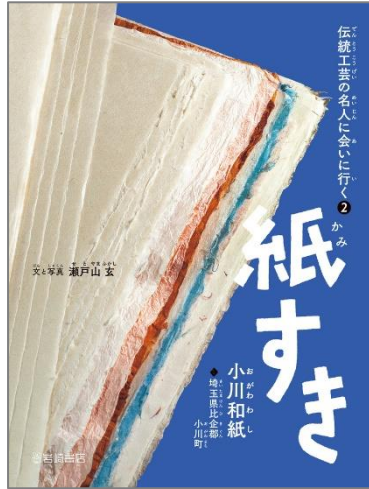


5・6年生から

『伝統(でんとう)工芸の名人に会いに行く 2
紙すき 小川和紙』(750デ2)
瀬戸山 玄(せとやま ふうし)／文と写真、
岩崎書店



埼玉県小川町と東秩父(ちちぶ)村は、1300年の歴史(れきし)がある和紙の産地です。小川和紙のなかでも、紙すき名人の内村さんが手すきで作る「細川紙(ほそかわし)」は、とくべつな紙で、ユネスコの無形文化遺産(いさん)に登録されました。紙すきの流れや、紙すき職人(しょくにん)の技(わざ)も、わかりやすく教えてくれる1冊(さつ)です。



『石井桃子(ももこ) 子どもたちに本を読む喜(よろこ)びを』(910イ)
竹内 美紀(みき)／文、立花 まこと／画、
あかね書房

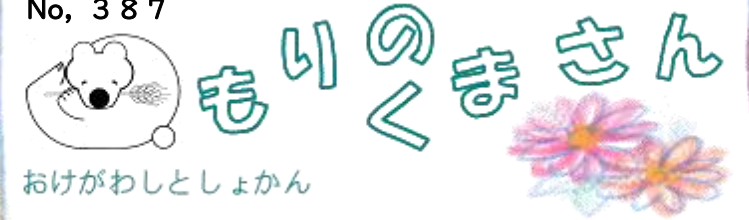
石井桃子は、『クマのプーさん』や『ピーターラビットのおはなし』を日本語に翻訳(ほんやく)した人です。桃子は、1907年、埼玉県北足立郡浦和(うらわ)町に生まれました。戦争中にも負けずに子どもの本を作り、101歳(さい)でこの世を去るまで挑戦(ちょうせん)を続け、子どもたちが自由に読書(よみか)を楽しめるような本や図書館(としよかん)を作りました。



埼玉の偉人(いじん)の物語、読んでみませんか？

11月						
日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		
お休み	※毎週月曜日、桶川図書館はお休みです。 ※川田谷図書館は、令和4年7月1日から令和5年12月頃(予定)まで、長期休館しています。					
おはなし会	桶川図書館 (TEL 771-0303) 毎週土曜日 午前10時30分~11時					
	坂田図書館 (TEL 783-2150) 毎週土曜日 午前11時~11時30分					
	中央図書館 (TEL 786-6353) 毎週土曜日 午後3時~3時30分					
★「もりのくまさん」についてのお知らせ 今月の『もりのくまさん』は小学生向きです。						

No. 387



2023年11月1日発行 桶川市図書館

☆今月の特集(こんげつのとくしゅう)☆

11月14日は、
埼玉県(さいたまけん)が
誕生(たんじょう)した日です。
今月は、いろいろな
「埼玉」がわかる本を
紹介(しょうかい)します。



埼玉県マスコット
「コバトン」「さいたまっち」

つめたいけれど

『かき氷 天然氷(てんねんごおり)をつくる』
(588カ)
細島 雅代(ほそじま まさよ)／写真(しゃしん)、
伊地知 英信(いぢち えいしん)／文(ぶん)、
岩崎書店

埼玉県の長瀬(ながとろ)では、明治時代(めいじじだい)から、天然氷(てんねんこ)がつくられてきました。現在(げんざい)もむかしながらに、冬の寒(さむ)さを助(たす)けに、沢(さわ)から引きこんだ水を、氷(こ)づくり専用(せんよう)の池(いけ)でこおらせています。



かたくて透明(とうめい)な氷(こ)をつくるため、池(いけ)をきれいに洗(あら)い、水質(すいしつ)を検査(けんさ)します。池(いけ)に入った落(お)ち葉(ば)は、氷(こ)を切り出すまで、毎日(まいにち)何回(なんど)もそうじします。

ひとさじのかき氷(かきこ)が口(くち)の中でとけていくまでには、大変(たいへん)な人の手間(てま)がかかっています。

1・2年生(ねんせい)から

『みてみて! クオッカ』(Eミ)

福田 豊文(ふくだ とよふみ)/写真(しゃしん)、
なかの ひろみ/文、
埼玉県こども動物自然公園(どうぶつしぜん
こうえん)/監修(かんしゅう)、ほるぷ出版

クオッカは、オーストラリア
から 埼玉(さいたま)の
どうぶつえんに やってきた、
もふもふで ちっちゃな どうぶつ。
カンガルーの なかまだよ。



きゅっとあがった
口(くち)もとが、にっこり
わらっているように みえるんだ。えがおの
ひみつは なんだと おもう?

クオッカの ひみつが わかる えほんです。

『おいしくなあれ 富(とめ)のいも』(Eオ)

わたなべ ひろみ/さく、たかい ひろこ/え、
代田 知子(しろた ともこ)/監修(かんしゅう)、
三芳町

秋(あき)になると、
しゅうかくされたサツマイモが、
おみせにならびます。ここ、
埼玉県(さいたまけん)の
三芳町(みよしまち)でも、
おいしいサツマイモが
つくられています。



だいちのおじいちゃんは、
ずーっとむかしから ひきつがれてきた
やり方(かた)で、サツマイモをつくっています。

おいしいおいもは、どんなふうにできるの?
だいちといっしょに、はたけにいつてみてみよう。

3・4年生から

『てっぱくにいこう!』

鉄道博物館(てつどうはくぶつかん)
完全(かんぜん)ガイド 新装版(しんそうばん)』
(686 テ)

小学館クリエイティブ

「てっぱく」とは、埼玉県の
大宮(おおみや)にある
「鉄道博物館」のことです。
電車で新幹線(しんかんせん)、
機関車(きかんしゃ)がたくさん
あって、電車の運転(うんてん)も
体験(たいけん)できます。



この本には、そんな
「てっぱく」のいろいろな見どころが、もりだくさん!
いく前に読んでおけば、「てっぱく」がもっと楽しく
なるかも!?

『ガリガリ君(くん)ができるまで』(588 ガ)

岩貞(いわさだ) るみこ/文、
黒須 高嶺(くろす たかね)/絵、講談社

アイスの「ガリガリ君」が
どこで作られているか、知って
いますか? ガリガリ君の会社は、
埼玉県深谷(ふかや)市にあります。
アイスの味(あじ)はどうやって
決(き)めているのかな? 工場
の中はどうなっているのだろう?



この本を読めば、ガリガリ君の
会社に入社した主人公(しゅじんこう)、稲葉(いなば)
ナナミといっしょに、ガリガリ君のひみつを知ることが
できます!

5・6年生から

『読みがたり埼玉のおかし話』(913 ヨ)

埼玉県国語教育研究会/編(へん)、日本標準



木曾呂橋(きそろばし)まで馬に乗せてあげた
美しい女の人が見沼(みぬま)の龍(りゅう)の神様
だったお話や、かっぱを助けてあげたら不思議な
ことが起こったお話など、埼玉県には、ずっと
むかしから語られてきたお話(民話)が、たくさん
あります。

この機会に、埼玉県のいろいろなむかし話を
読んでみませんか?

